

ENJOY ALPINE CLIMBING

中級だより 2019

これからアルパインクライミングをめざす人のための学校「中級登山学校」

岩登りの技術を中心に、ロープワーク、レスキュー技術、自然条件に対する判断能力、
体力強化、山の生活技術など、総合的に学ぶ様子をお伝えします。

Vol.1

いよいよ新体制での中級登山学校が本格スタートしました！

初回となる今回は、新旧校長の対談をお届けします。

司会：平野(このはな山の会)

司会：柳川さんは、2015年から2018年の4年間、中級の校長を務めてこられました。

お疲れさまでした。いろいろあったと思いますけど、振り返ってどうでしたか？

柳川：いやあ、長かったような、あつという間だったような。まずは、大きな事故なく終えることができたのも、コーチをはじめアシスタントコーチ、スタッフや関係者の皆様のお陰だと感謝しています。いろんなことがありましたけど、修了山行で最後に胴上げされると、辛かったことなど全てが報われます！人生で胴上げされるなんてそうそうないでしょ？



2018 修了山行 柳川校長胴上げ

大森：確かに！私も去年、胴上げされて感動しました。

司会：私も！思ったよりずっと高いですね！・・・大森さんの後やったから、重たかったって言われましたけど(笑)。ところで、柳川さんと言えば！

大森：「考える力を育む！」これは私もぜひ踏襲したいと考えています。

柳川：「考える力」は校長になってから何を主軸に置か改めて考えて、特に力を入れてきたこと。事故防止や安全管理も「自分で考える力」があつてこそ。山行も連れて行ってもらうものではなく、スタッフになったら自分たちで計画し、登りに行くように言いました。取付きなんか迷いながら探したらいい。そうして、自分たちで動けるようになることが大切。



柳川憲一前校長(テンション)

大森：私たちの代(2015年受講)もスタッフを卒業するころから自分たちで行くようになりました。取付きがわからないまま時間切れで引き返したこともあります。けど、下の代に引き継がれて、スタッフや会の人などを誘って自分たちでどんどん登りに行くようになってきましたね。



大森宏和新校長(泉州労山)

司会：そうですね。では、大森校長、新校長としての抱負をお願いします。

大森：私は登攀その他の技術、知識、経験など全てにおいてまだまだ力が不足していると思っています。ただ、中級の長い歴史、先輩方が繋いでこられたものを考えると、何とかこれらを次の代に引き継いでいきたいと思っています。具体的には、考える力を育てることに加えて、スタッフを卒業した後も引き続き中級にかかわり続けてもらえるよう取り組みたいと考えています。

司会：なるほどー。では、そんな大森新校長に、柳川前校長からエールをお願いします。

柳川：大森さん！梶原・平野両副校長に菊池さん、そして有能なスタッフが一緒なので校長のすることはたぶんないですよ。いざという時に現状を受け入れて困難を受け止める、それが唯一で最大の仕事でしょうか。がんばってください！

大森：ありがとうございます！がんばります！